

学校概要

創立 67 周年	学校長 阿部 健司	副校長 篠原 武	学期 3 学期制	児童・生徒数 931 人
学級数 一般級: 24 個別支援級: 3		主な関係校: 大綱小学校・太尾小学校・大豆戸小学校・菊名小学校		

学校教育目標

「共に学び、自他を大切にし、たくましい、心豊かな人を育てます」
 ○将来にわたって学び続ける人を育てます。(知)
 ○自立心にあふれた心豊かな人を育てます。(徳)
 ○心身ともに健やかでたくましい人を育てます。(体)
 ○広く社会に貢献する人を育てます。(公)
 ○横浜を愛し、国際社会の発展に寄与する人を育てます。(開)

学校の特色

- 学区には東急東横線大倉山駅およびそれに隣接した商店街や公共施設があり、学校に対して協力的である。
- 保護者・地域の教育力が充実しており、学校教育への関心も高い。生徒の学習意識、生活意識も高い。
- 本校の卒業生がPTAや町内会自治会のリーダーとして活躍しているため、歴史的にも学校と強い連携体制がある。
- 小中ブロックの連携が充実している。
- 生徒の積極的な挨拶がなかなか定着しない。

学校経営中期取組目標

- 指導力・授業力・組織力の向上により、魅力ある学校づくりを目指します。
- ・認め合い学び合う姿勢を育み、やりがいのある授業づくりを目指します。
- ・困難に立ち向かう姿勢と他者を思いやる姿勢を育み、いじめのない学校づくりを目指します。
- ・挨拶から始まるコミュニケーションを大切に、実生活や将来につながる生活態度を身に付けさせます。
- ・教職員集団としての協働性を尊重して、日常の教育活動を推進します。
- ・保護者や地域との連携を大切にして、地域に貢献しようとする姿勢を育みます。

小中一貫教育の取組

大綱中	ブロック	: 大綱中学校・大綱小学校・太尾小学校・大豆戸小学校・菊名小学校
9年間で育てる子ども像	○元氣なあいさつができる子ども ○主体的に学習に取り組む子ども ○つながりを創りあげる子ども	
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科において、身に付けさせる力の設定とその共通理解を図るための合同授業研究会を、7月7日に実施します。 ・目指す子ども像について、継続的な視点と新たな視点を確認するための合同研修会を、8月25日に実施します。 ・定期の小中ブロック担当者会や人権担当者会の他に、随時の中学校職員による小学校参観を実施します。 	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	授業のユニバーサルデザイン化を推進し、さらに評価評定に関する研修を充実させることで、授業改善を図る。	①校内研究授業週間を、共通テーマを設定して実施する。小中ブロックにおける合同授業研究会においては積極的に授業を公開し、生徒にとってやりがいのある授業を目指す。 ②「生徒による授業評価」の研究を進め、これをCとするPDCAサイクルを構築する。
豊かな心	自他の存在を認め大切に、豊かな人間関係を育むことができる生徒を育てる。	①生徒会本部や各委員会の活動目標や年間活動計画に、いじめ防止に関わる内容を掲出することで、生徒主導のいじめ防止活動を実践する。 ②気持ちのこもった挨拶ができるように、教職員が日常生活のあらゆる場面でお手本を示す。
健やかな体	心身のバランスのとれた成長を促すために、健康の維持増進に関する啓発を推進する。	①学校保健委員会の活動を中心に、生徒による生徒への啓発を実施する。 ②運動部における怪我やスポーツ障害の発生を予防するための活動を継続する。 ③昼休みの外遊びを推奨する。
生徒指導	チームとしての意識を高め、情報の収集・共有・共通認識のさらなる改善を目指す。	①日常の生徒理解や研修会を通して、生徒理解の深化を図る。 ②生徒と共にいる時間を最大限に確保し、しっかりと褒め、きちんと指導しながら自尊感情を高める。
特別支援教育	各学級担任や学年主任との連携、さらに関係諸機関との連携を積極的に行い、迅速的確な対応をする。	①ユニバーサルデザインに関する啓発を行い、教職員の理解を深める。 ②特別支援委員会の定期開催を図り、配慮を要する生徒に関する状況把握の最新化を目指す。 ③カウンセラーや区役所等の関係諸機関との協力関係を強化する。
地域連携	保護者の願いや地域の特性を大切に、各種運営の充実を図る。	①地域の行事や活動への参加を通して、協力関係のさらなる充実を目指す。 ②保護者・地域との協働により、いじめを許さない風土作りを推進する。
人材育成・組織運営	実践の中で生まれる様々な課題について、安心して語り合える職員室の雰囲気醸成する。	①メンターチームの活動を通して、若手だけではなくミドルリーダーの育成を目指す。 ②一人ひとりの資質向上がチーム力の向上に繋がるよう、実践力養成に役立つ校内研修を実施する。 ③組織・活動内容・会議の精選を図る。